

はやね はやおき 朝ごはん テレビをとめて外遊び

平成28年度

別海町立野付小学校

学校だより No13

平成29年2月28日

発行責任者

校長 山本 尋子



三角帆

<みんなのめあて>～ がんばる・考える・思いやる～

「ありがとう」を心に刻んで

2月は天候を心配しながらも晴天に恵まれた東部スケート大会、予定外に降った雪が1・2年生のアイスクリーム作りには幸いとなったふれあい参観日など、保護者の皆様のご協力を得ながら、大きな行事を無事に行なうことができましたこと、心より感謝いたします。

東部スケート大会では、昨年末より造成メンバーの方々にリンクの造成をしていただき、その後幼・小・中のPTAの皆様にはリンクの維持に協力していただきました。1月末の吹雪の後には、たくさんの方々が除雪をしてくださり、機械の故障が相次いだ時にも地域の業者さんが快く対応してくださいました。大会運営に当たっても本当に多くの方々の協力があったとのこと、地域の力がなくてはこの大会は成立していかないことを感じ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

ふれあい参観日では、親子の触れ合いをテーマに年一回ですが「一緒に何かをすること」を大切にしてきました。その学校の思いを受け止め、たくさんの保護者の皆様が学校に足を運んでくださいました。子ども達を育てること、学校だけではできません。お休みにもかかわらずたくさんの方々が来てくださったこと、本当に感謝しております。

さて、学校の中でも今「ありがとう」の気持ちを伝える取り組みが盛んにおこなわれています。

6年生が卒業を控え、6年間お世話になった学校や一緒に学んできた在校生へ感謝の気持ちを伝えるため、自分たちで考えた活動に取り組んでいます。その名も「Project G」。普段気の付かなかったところの掃除や、在校生とのふれあい掃除、ふれあい給食などを行っています。

在校生も5年生を中心に、お世話になった6年生に今までの感謝の気持ちを伝え、気持ちよく卒業してもらおうための活動が始まっています。それは、きっと卒業式の日に花開き、子ども達の心に素敵な思い出となって刻まれていくと思います。

こうしてたくさんの「ありがとう」に巡り合えた2月ですが、振り返ると普段の生活の中にも、たくさんの「ありがとう」を見つけることができそうです。落ちた消しゴムを拾ってくれてありがとう、困ったときに声をかけてくれてありがとう、遊びに誘ってくれてありがとう、…学校の中でもお家に帰ってもきっと子ども達の周りには「ありがとう」がいっぱいあると思います。大事なものはその「ありがとう」に気づくこと、そしてそれを伝える言葉を持つことだと思います。

ほんの小さなことでも感謝できる感性を磨き、言葉で伝える素直さを持った子ども達になってくれるよう これからも努めていきたいと思っています。



校長 山本 尋子